

2007年11月13日
MR/J52/07



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: <http://www.unu.edu/>

「地球温暖化対策」をテーマに ゼロエミッションシンポジウムを開催

内容： ゼロエミッションシンポジウム 2007
テーマ： 「地球温暖化対策－展望と世界の先進事例」
日時： 2007年11月28日（水）午前9時30分～午後5時30分
場所： UNハウス（東京） ウ・タント国際会議場
主催： 国際連合大学ゼロエミッションフォーラム（UNU-ZEF）
共催： 日本学術振興会ゼロエミッション第168委員会

- 2005年2月、京都議定書の発効により、地球温暖化問題への国際的取組みは重要な一歩を踏み出した。しかし最近の例を見ると、地球温暖化の流れは予想を上回る速さで進んでいることが分かる。一方、異常気象により、世界各地に巨大ハリケーンや台風、集中豪雨、干ばつ、砂漠化の進行、熱波など、気象に関連した出来事が頻発し、深刻な局地的被害を与えている。
- 本シンポジウムでは、さらに進行する地球温暖化の影響と、今日世界で行われている地球温暖化防止活動の先進事例を検証する。
- 午前のセッションでは、「スターン・レビューと英国の気候変動対策」と題し、グレアム・フライ駐日英国大使が特別講演。
- 特別講演の後、「展望」をテーマに、日本に焦点を当てた「低炭素社会に向けたパラダイムシフトと日本の環境戦略」と「日本の温暖化対策戦略－短期悲観、長期楽観」と題し、国連大学 ZEF 代表者2名による発表が行われる。
- 午後のセッションでは「世界の先進事例」をテーマに、「スウェーデンの環境政策とストックホルムのバイオガス戦略」、「温暖化対策－水素社会に向けたBMWの取組み」、「温暖化対策－トヨタのハイブリッド車への取組み」、「温暖化対策－USCAPの動きとジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の活動」、「温暖化対策－家庭用燃料電池普及による家庭のCO₂削減対策」と題する5つの発表が行われる。発表はそれぞれ、ストックホルム・ウォーター社、BMW株式会社、トヨタ自動車株式会社、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社、松下電機産業株式会社の代表者が担当する。
- 日英同時通訳つき。

当シンポジウムの取材に関する連絡先：
国連大学広報部、担当：谷野（やの）（TEL:03-5467-1311、e-mail: media@unu.edu）

MEDIA ADVISORY